

第3回 グループ(合同)会議 議事骨子

開催日時	平成19年10月22日(月)
開催場所	和歌山JAビル 第11会場
出席者	委員12人、河川管理者等12人

分野別グループ会議の終了後、両グループの委員が集まり、合同で会議が開催され、「熊野川河川整備計画の策定に向けて」のとりまとめ方法、今後の進め方等について審議が行われた。会議の議事骨子は以下のようである。

1. 「熊野川河川整備計画の策定に向けて」のとりまとめ方法について

確認事項は以下のとおりである。

(1) 「はじめに」について

- ・ 懇談会の活動概要、本書の作成に至る経緯、目的および各章の位置づけ等についてとりまとめを行う。

(2) 「熊野川流域の概要」について

- ・ 概要の説明に必要となる図表(流域図、ダム位置図、流域の水利用に関する図など一般的なもの)については、文章中に表示する。詳細なデータやグラフなどについては巻末に表示する。
- ・ 図表の表示箇所については、全体のバランスを見て作成者が判断を行う。

(3) 「整備計画の策定に向けて」について

- ・ 整備計画を策定する河川管理者の守備範囲、対象区間を踏まえて、内容をまとめる。
- ・ 原案は各担当者が作成し、最終内容は懇談会の意見として発表する。内容についてはすべて懇談会の審議を経てとりまとめる。意見が最終的にまとまらない場合は、複数案提示となる場合も考えられる。
- ・ 分野ごとの作成担当は以下のとおりである。とりまとめに当り、必要な資料の入手、質問等については庶務を窓口とする。

治水分野：椎葉委員長

利水分野：木本委員

自然環境：瀧野委員

社会環境：橋本委員、山本委員

(4) 「まとめ」について

- ・ 熊野川の現状、課題、可能性、整備への協力のお願、お礼等についてとりまとめる。

<委員からの意見>

委員からの主な意見は以下のとおりである。

- ・ 流域概要では、流域人口の高齢化についても言及してほしい。また、その状況を示す市町村別の年齢構成別人口の推移の図表が必要である。
- ・ 分野構成は、治水・利水・環境の3分野にこだわる必要は無いのではないか。
- ・ 直轄管理区間への意見を示す際に、流域全体に言及することもあるのではないか。

2. その他

今後のスケジュールの他、以下の事項が確認された。

- ・ 現在の名称では、現状と課題の各委員の意見が整備計画への意見ととられてしまう可能性があり、次回検討会で変更の必要性を含め名称、キャッチフレーズについての審議を行う。

3. 新任委員の紹介

新任委員である藤田正治京都大学防災研究所教授の紹介が行われた。